

ビーミッシュ市長らが 市民と交流

ビーミッシュ市長ら訪問団一行は、滞在中、市内の福祉・教育施設などの視察を行い、市民の皆さんと交流し親睦を深めました。

〈トロイ市公式訪問団〉

マイケル・ビーミッシュ市長、パトリック・ティタリントン副市長、チャールズ・コックラン商工会議所会頭、ジョン・ウォレス次期商工会議所会頭、アレックス・ハラ通訳の5人の皆さん



▲成羽川荘では

さまざまなゲーム、あやとりなどの昔遊びで、入所者の皆さんと楽しいひとときを過ごしました。

◀吉備国際大学では

文化財総合研究センター、保健福祉研究所を見学。美術品の修復の様子など、熱心に見入っていました。

▶末永い友情を願い植樹

同大学の国際交流会館前に、両市の末永い友情を願って、ハナミズキを植樹しました。

◀そば打ちを体験

有漢町の風ぐるま市場百姓グループの皆さんと一緒に、そば打ちを体験。地元産野菜がたっぷりに入ったけんちん汁をかけて、出来たてのそばを味わいました。

ますます友好の絆を深めています。また今年度は、中学生のトロイ市への派遣（7月下旬）、トロイ市からの中学生の受け入れ（8月中旬）も予定されています。

トロイ市はオハイオ州南西部、マイアミ川の沿岸に位置し、日本企業も進出する工業都市として発展を続けています。

人口は約2万2000人で、「トロイに住み、そこで働き、楽しもう」という市民意識が高く、市民の手による安全で快適なまちづくりが進められ、また充実した教育環境も整えられています。

加計勉理事長（後の加計学園・高梁学園名誉理事長で本市名誉市民、故人）を通じ、キャンベル市長の親書を携え来高しました。平成元年9月、樋口修市長らがトロイ市を訪問し、トロイ市議会は高梁市との国際姉妹都市縁組を決議。翌年、吉備国際大学開学に合わせキャンベル市長らを高梁市に迎え、縁組調印式を行いました。



記念宣言書への署名後、固い握手を交わす両市長（4月17日）

トロイ市との国際姉妹都市縁組締結は、平成2年5月4日。以来、中学生の相互派遣をはじめとする教育文化交流を中心に、今日まで友好の絆を深めてきました。

国際姉妹都市縁組の経緯

日本の都市との交流を希望していたトロイ市のダグラス・キャンベル市長が、隣接のデイトン市にあり、高梁学園（現・順正学園）と教育交流協定を結んでいたライト大学の副学長エレン・ア・コーク博士（後に吉備国際大学教授）と協議。コーク博士は、トロイ市と類似性の多い高梁市との交流提携を働き掛け、昭和63年3月、高梁学園の

トロイ市 国際姉妹都市提携20周年 さらなる友好発展を確認

アメリカ合衆国オハイオ州トロイ市との国際姉妹都市縁組の締結から、今年で20周年を迎えました。4月15日から18日の日程で、マイケル・ビーミッシュ市長ら5人のトロイ市公式訪問団が来高。国際姉妹都市提携20周年記念式典を開催し、両市のさらなる友好発展を誓い合いました。

